



■ 兵庫運河の環境整備と魅力向上

兵庫運河では、兵庫運河美しくする会や真珠貝プロジェクト、兵庫漁業協同組合の皆様の長年の活動により水質が改善し、環境学習や生物調査が行われる貴重な環境資源となっています。

私は、大阪湾岸道路西伸部工事で発生する石や砂などの再生資源を、運河の環境整備に活用できないか質問しました。

→ 市は、第4防波堤撤去で発生する資材を「あつまれ生き物の浜」で有効活用する計画があり、学識経験者や地元関係者による検討会で整備内容を検討していくとの答弁がありました。

兵庫運河ではアコヤガイの生存率が過去最高の92%となるなど、環境改善の成果も見られています。

今後も環境学習や研究の場としての価値を高め、企業や研究者、観光客など多くの人が関わる地域資源として活用されるよう取り組みを求めました。



兵庫運河での環境学習

■ 神戸ウォーターフロントの回遊性向上

メリケンパークから新港エリアにかけてのウォーターフロントでは、京橋地区の再整備が予定されています。阪神高速道路の大規模更新と連携して、船だまりの再編や埋立てを行い、新たな土地を創出する計画です。

私は、事業費約162億円のうち阪神高速道路にも相応の費用負担を求めている協議状況について確認しました。

→ 市からは、船だまりの再編費用は折半とし、埋立て部分についても一定の負担を求める形で基本協定の締結を進めているとの説明がありました。

また、新港エリアでは平日のにぎわいがまだ十分ではないため、イベントやイルミネーションなどの取り組みをさらに進め、東西の回遊性向上につながる必要があると指摘しました。

さらに、

- ・大型クルーズ船を撮影できる写真スポットの整備
- ・メリケン波止場山本線を国道2号南側から北向きの夜景スポットの活用など、回遊性向上につながる具体的な提案も行いました。



京橋地区再整備エリア

■ ウォーターフロントの防災対策

ウォーターフロントでは、イベント時には同一タイミングで約2万人が滞在することもあります。津波などの災害発生時の避難誘導についても質問しました。

→ 市は、アリーナなどの施設では建物上階への一時避難、屋外イベントでは複数ルートでの段階的避難を計画しているとの説明でした。

私は、多くの来訪者が集中するエリアであるため、実効性のある避難計画を十分に検討するよう求めました。

■ 神戸空港の受入環境整備

2030年の国際定期便就航に向けて、神戸空港の利用者増加が見込まれています。そこで

- ・駐車場の立体化など高度利用の検討
- ・空港内トイレの混雑対策
- ・利用者目線での環境整備

などについて質問しました。

→ 市からは、利用状況の分析を行いながら、駐車場の在り方や施設整備に関西エアポート神戸と検討していくとの答弁がありました。



神戸空港

■ 瀬戸内観光連携

瀬戸内地域の観光振興については、神戸港・広島港・高松港など6港が連携し、クルーズ客船の誘致やプロモーションを進めています。瀬戸内海は世界的にも注目される観光資源であり、都市同士が競うのではなく、連携して魅力を発信することが重要です。

神戸港を起点としたクルーズの拡大に向け、自治体連携をさらに進めるよう求めました。

ご挨拶

最後までお読みいただき、ありがとうございます。日頃より温かいご指導に心より感謝申し上げます。本市政報告では、令和8年2月議会での質疑を中心に、これまでの取り組みをまとめました。これからも地域の声に耳を傾け、身近で信頼される市政を目指してまいります。今後とも変わらぬご指導とご意見をよろしくお願いいたします。